

明治時代に津田仙は、朝鮮から日本にきたイ・スジョンに孔子(儒教)の光は部屋だけを明るくするが、イエス・キリストは全世界を照らす光であると語りました。それを聞いてイ・スジョンは聖書を読み始め、福音を受け入れ、彼によってマルコの福音書がハングルに翻訳をされるようになりました。その聖書が朝鮮の伝道の働きに用いられるようになりました。しかし、日本は明治以降に天皇主義の思想に傾き、太平洋戦争などの災いを受けてきました。悪魔はキリストの光がわからないようにさせています。シリアもキリストの光を分からなくなって、イスラムの支配を受け、現在もたくさんの災いを受けています。私たちは、真のキリストの光について分かるべきです。

1. 真の光であるキリスト	2. キリストを味わう	3. 福音の伝道	4 部礼拝 「唯一性の機会」(使 1:3)
<p>1)ルカ 2:30-32(異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄です) (1)悪魔は真のキリストの光を分らないようにさせる。 (2)神の願いは福音を知ることである。 2)ヨハ 1:9(すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた) (1)キリストは真の光として世に来た (2)キリストの光-3つの問題(サタン、罪、死)を解決した。 ①コロ 1:13-14(神は、私たちに暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています) ▲御子キリストにより、サタン、罪から人間を救い出した。 ②ヨハ 5:24(わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からのちに移っているのです) ▲死から命を与えて下さった。 3)ヨハ 19:30(イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた) ▲キリストは十字架の上ですべての問題を解決された(100%完了した)。 4)ローマ 1:17(「義人は信仰によって生きる」と書いてある通りです) ▲救われるための条件は、ただ福音を信じることで救われる(努力ではない)</p>	<p>▲サタンは福音を味わうことを邪魔する。 ▲福音を味わう=キリストと共に生き、キリストを主人として歩むこと。すべてのことを主に委ねる生活をする。 1)I ペテ 5:7(あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです) (1)悪魔は聖徒に思い煩い、心配を与える。 (2)私たちの主人は神様であることを信じる。 (3)私たちの思い煩い、心配を全て主に委ねる。 2)ガラ 2:20(私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです) (1)自分の自我は無くキリストが主人になる (2)私の立場、欲望、自尊心、心配も捨て去り主に委ねる。 (3)委ねた結果としてたくさんの答えが与えられる。 3)出 25:22(わたしはそこであなたと会見しその『贖いのふた』の上から、すなわちあかしの箱の上の2つのケルビムの間から、イスラエル人について、あなたに命じることをごとくあなたに語ろう) (1)全てのことを主に委ねて礼拝に成功すべき (2)礼拝は神の子供(サタンに解放された者)だけができる。 (3)旧約の時代に大祭司は、一年に一度、血を持って神殿の至聖所まで入る。そこに、契約の箱(贖いのふた)があり、神様は、大祭司に会われ、神様の御声を聞かせた。 (4)礼拝、講壇メッセージを通して主の御声を聞かせる。 (5)御国牧師の証:宣教師として福岡に来たとき、韓国からのサポートもなく生活が大変であった。しかし、神様の子供であるため心配する必要はなく、ただ伝道・弟子をたてる働き(マタ 28:18-20)に専念しなさいという主の御声を聞いた。結果として主が生活を守り、伝道を成した。 ▲I ペテ 2:9(あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です/宣べ伝えるためなのです) (1)第二の宗教改革をするように主は召された。 (2)全ての聖徒に万民王,万民祭司,万民預言者の務めを与えた</p>	<p>▲主の御声は福音の伝道をすることである。 1)マタ 5:14(あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません) (1)闇の中にいる世の中の人々に福音の光を放つ。 ①区域地教会、職場、現場で福音の光を放つように。 ②カルビン:全ての仕事は神様が聖徒に与えられたもの。 ③職場で福音の光りを放つ→唯一性の祝福。 (2)家庭に働く闇の力をキリストの名前で打ち砕く。 2)マル 16:15(全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい) (1)全聖徒が福音を伝達する (2)全世界に宣教する使命 3)イザ 60:1(起きよ。光を放て、あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に輝いているからだ) ▲全世界の人を生かす福音の光が聖徒の内にある。預言者としての使命を果たす。 結論①福音の光で根本問題を解決して全ての問題を完了。 ②私の自我はキリストと共に十字架につけられた。 ③礼拝-主の御声を聞く。 ④福音の光を放つ-再創造 ⑤40日特別早天祈祷の参加</p>	<p>序論—優先順位、10分—24時 1. 創 41:38 2. 出 3:18-20 3. Iサム 3:19 4. Iサム 10:13 5. II列 2:9-11 6. イザ 6:1-13 7. 使 1:1、3、8 タラント(唯一性) 本論 1. 時代ごと—唯一の機会 1)4代 2)400年 3)14人の士師 4)800年 5)700年 6)1000年 7)500年 2. 福音を受ける唯一の対象 1)レムナント7人 2)使 3:1-12,8:4-8,8:26-40,13:1-4,19:21 3)237か国 3. 唯一な時間 1)霊的サミットの時間(祈りに集中) 2)技能サミット(作品) 3)文化サミット(神の国) 結論(24時—25時—永遠) ①御言葉—7人のR-t-タラント(知性) ②神様の御業—英雄、 ③正体性—3つの祭り(使 1:1,3,8) ④礼拝成功—安息日 ⑤Only-成人式(専門性) ⑥唯一性—会堂 ⑦再創造(ロッジ、時代性)、記録</p>

区域地教会(2017年4月9日~4月15日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】

「全世界を照らす真の光」(ルカ 2:25-35)

【讚美】

96「この世の闇路には」

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・「第二の RUTC 運動」(本部 元旦メッセージ)のメッセージの成就のために。
- ・「第二の宗教改革」(福音宣教教会 元旦メッセージ)。全聖徒が万民王、万民祭司、万民預言者の使命を成し遂げ、2017年に1%福音化が成されるように。
- ・3つの運動(区域地教会、レムナント、8000教会・286人の宣教師)の成就のため。
- ・主任牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

【Memo】